

令和8年度 館林市立第四小学校 学校経営グランドデザイン

学校教育目標 豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、
心身ともにたくましく生きる児童の育成

めざす学校像 地域とともに学び、子どもの夢と可能性を育む第四小学校
(R2学校運営協議会熟議より)

めざす児童像 人とのつながりを大切に、地域を愛する子(//)

めざす地域像 あいさつと笑顔でつながる四小地域
(R4学校運営協議会熟議より)

めざす教職員像

- ★子どものよさや可能性を引き出す教職員
- ★情熱と志をもち、学び続ける教職員
- ★子ども・保護者・地域と意思を共有し、信頼される教職員

信頼される学校づくり

- ・学校教育の様子や教育方針情報を積極的に発信する。
- ・コミュニティ・スクール活動を通して、多くの人と交流することにより教育方針を共有し、安全・安心な学校づくりに努める。
- ・「規律確保行動計画」の取組を全教職員で点検・評価し非違行為の根絶をはじめとする服務規律確保に努める。

学校経営方針

- ① 自己指導能力の獲得を支える生徒指導の充実、全教育活動を通じた道徳教育の推進、異年齢集団活動や体験活動を通して、豊かな人間性の育成と温かい人間関係づくりに努める。
- ② 学ぶ楽しさや互いに高め合う喜びを実感し、一人一人がエージェンシーを発揮する学校づくりに努める。
- ③ 心身の健康の保持増進に向けた取組の充実、「四小体力向上プラン」に基づく運動の推進、食育の取組により、健やかな体の育成をめざした学校づくりに努める。
- ④ コミュニティ・スクールの推進により開かれた学校づくりと、本物に触れる体験や人とながることがのよさが実感できるような価値ある実践に努め、保護者や地域とともにある信頼される学校をめざす。

★学習指導要領

- ★群馬県教育振興基本計画
- ★群馬県学校教育の指針
- ★館林市教育行政方針
- ★家庭の実態・保護者の願い
- ★地域の実態・願い

校内研修

自己指導能力を高める児童の育成
～エージェンシーの発揮につながる
授業づくり～

【思いやりのある子】

- 「豊かな人間性」を育む
- ・「自分で考えて、自分で判断して、自分で行動する」を児童の合い言葉として、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を通して、児童の自己指導能力の獲得を図る。
- ・各教育活動等との関連を明確にした道徳教育の推進により、他者と共によりよく生きるための道徳的判断力、実践意欲と態度を育てる。
- ・地域の方との様々な体験活動や異年齢集団活動においてねらいを明確にした活動を行い、社会性や自己有用感、共感的な人間関係を育む。
- ・全教職員が全児童の担任という意識をもち、諸課題の未然防止や早期発見・対応に組織的・計画的に取り組む。
- インクルーシブ教育
- ・特別な支援を要する児童に対し、ニーズに応じた「合理的配慮」を提供し、組織的・計画的・継続的な支援を行う。
- ・連携を密にし、多様性を尊重し、協働する力を育成する。
- ・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく、校内の教育支援体制を充実する。

【自ら学び考える子】

- ・「はばたく群馬の指導プランⅡ」を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」を展開する。教師が「～させる」授業から、児童が「～する」授業の充実を図る。
- ・効果的な場面でICTを活用する。
- ・低学年からの継続した外国語活動の体験を推進し、コミュニケーションを行うことを通して、自分の思いや考えを伝え合う力を身に付けさせる。
- ・図書室の充実や一人年間100冊を目標とした読書活動を推進し、心をたがやすとともに、言語能力や想像力を養う。
- ・コミュニティ・スクール活動を通して、本物に触れる体験や人とながることがのよさを感じられるような特色ある教育活動、朝学習の支援の充実を行い、学ぶ意欲の向上と実感を持った理解を図る。

【心も体もたくましい子】

- 健康や体力向上に向けた取組
- ・体育的行事・体育授業の工夫や身体活動量の増加に配慮した「四小体力向上プラン」を基に、組織的・計画的な取組を推進し、健やかな体の育成を図る。
- ・給食の時間や各教科等における食に関する指導の充実や「食に関する全体計画」を基に、組織的・計画的な食育を推進する。
- ・家庭や地域と連携を図りながら、自発的な健やかな体づくりの充実に取り組む。
- 自分の命は自分で守る力の育成
- ・多様な安全・防災教育や訓練の実施、安全点検、地域と連携した安全体制を充実する。また、コミュニティ・スクールを活用した地域防災訓練への参加により、地域・親子で防災への意識を高める。
- ・リスクマネジメントとクライシスマネジメントの視点で緊急時対応マニュアルの作成・活用見直しを行い、危機管理の徹底に努める。

コミュニティ・スクールの推進

- ・開かれた学校づくりと、本物に触れる体験や人とながることがのよさが実感できる価値ある実践
- ・大島公民館と連携して地域学校協働活動の充実に向け、保護者や地域とともにある、信頼される充実した教育活動

小規模特認校として魅力ある教育活動の推進

- ・一人一人を大切にしたいきめ細かな支援の充実
- ・小規模校のよさを生かした教育課程の編成、実施
- ・異年齢交流による児童相互の成長、地域との体験活動、感動の共有